FOOD MACHINES INTERNATIONAL

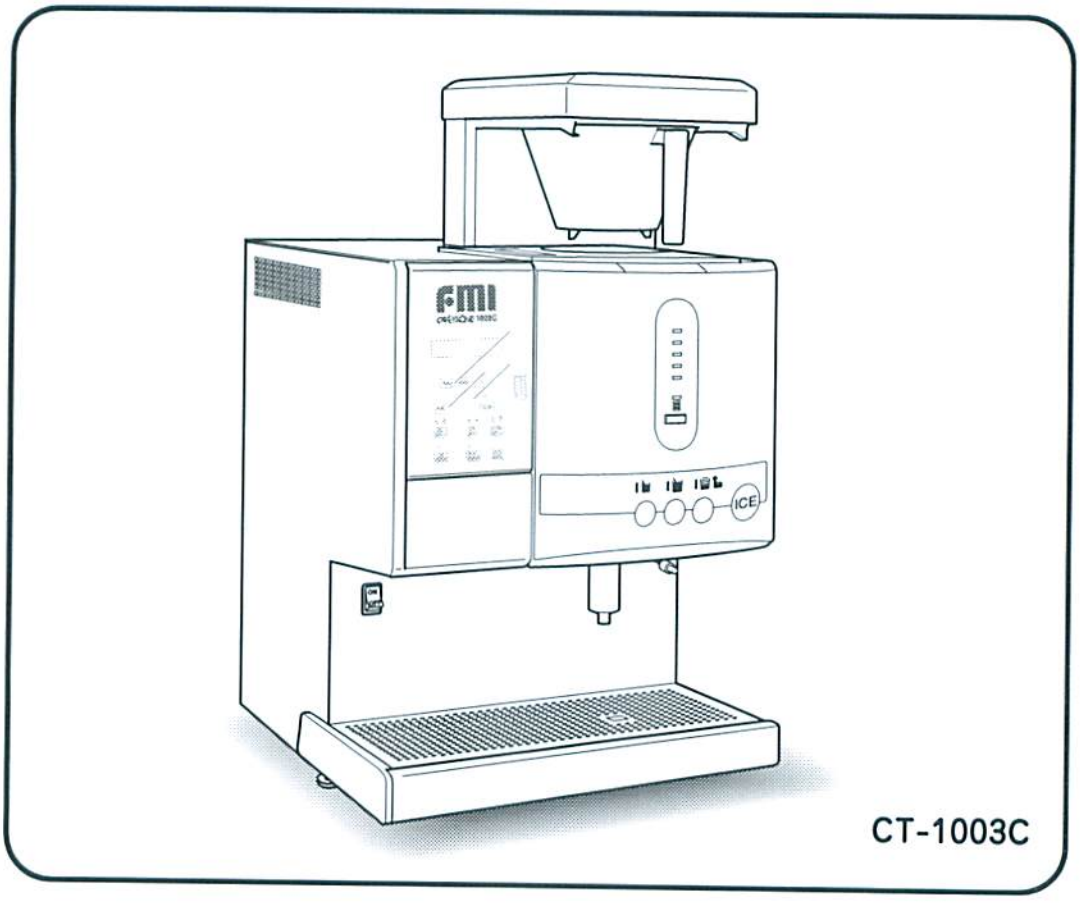
アイスコーヒーマシン「カフェトロン」

CAFÉ-TRÔNE

お客様用

ー取扱説明書ー

型式：CT-1003C（業務用）



CT-1003C

- このたびは、当社のアイスコーヒーマシン「カフェトロン」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

目　次

本機をお使いになる前に　1

安全上のご注意 …… 1

本機の使用にあたって、必ず守ってください …… 2・3

各部の名称とはたらき

本　体 …… 4

抽出スイッチ部 …… 5

操作スイッチパネル部 …… 6・7

第1章　抽出のしかた　8

本機の操作時には必ず守ってください …… 8

本体のメインスイッチを入れる前に …… 9

本機の立ち上げかた …… 9・10

アイスコーヒーの抽出のしかた …… 11～13

アイスコーヒーの取り出しかた …… 14・15

第2章　冷蔵のしかた　16

アイスコーヒーの冷蔵のしかた …… 16・17

第3章　洗浄・清掃のしかた　18

本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください …… 18・19

毎日おこなう洗浄と清掃

ファンネルの洗浄 …… 20

ドレンプレート、ドレンパンの洗浄 …… 21

週に1～2回おこなう洗浄と清掃

コーヒータンクの自動洗浄 …… 22～25

コーヒータンク内部の洗浄 …… 26・27

コーヒーノズル（延長ノズル）の洗浄 …… 28

コーヒー取り出しバルブの洗浄 …… 29～32

ファンネル取り付け部底面の清掃 …… 32・33

本体外装の清掃 …… 33

月に1回おこなう洗浄と清掃

ドリップシャワープレートの洗浄 …… 34

3ヶ月に1～2回おこなう清掃

フィルターの清掃 …… 35

圧力スイッチについて …… 35

長期間ご使用にならないとき …… 36

浄水器について …… 37

第4章　お手入れと点検　38・39

第5章　プログラム設定について　40

プログラムの概要

プログラムモードに入るには …… 40

プログラムのグループ …… 41

各プログラムグループの設定のしかた

時計／自動立ち上げグループ …… 42～47

ドリップ抽出グループ …… 48～51

コーヒー取り出し量グループ …… 52・53

温度グループ …… 54～57

ボタン反応時間 …… 58・59

第6章　据付けについて　60

本機の据付け時には必ず守ってください …… 60・61

据付工事

配管用部品 …… 62

据付前の準備 …… 62～65

据付け

レイアウト …… 66・67

据付・接続 …… 67～69

据付後の動作確認 …… 70・71

仕　様 …… 72

商品保証書 …… 73

本機をお使いになる前に

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

【図記号の例】

感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

本機の使用にあたって、必ず守ってください

⚠ 警　告

●漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF（切）』に作動したときは、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。

●異常時は電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF（切）』にしてすぐにお買上げ店に連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。

●機械内部の電気装置や配線に触らないこと

やけどや感電の恐れがあります。

●ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること

換気扇のスイッチを入れたりしますと、引火爆発し、危険です。

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理は行わないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災の原因になります。

●改造は絶対に行わないこと

改造をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。

●移設は専門業者か、お買上げ店に相談すること

据え付け不備があると、水漏れ、感電、火災などの原因になります。

●廃却は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

本機の使用にあたって、必ず守ってください

⚠ 注　意

●本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

禁止

●可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと

発火の原因になることがあります。

可燃物禁止

●本機にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや本機転倒によるケガの原因になります。

禁止

●点検するときは、必ず電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にすること

感電したり、ケガの原因になることがあります。

専用電源切

●電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁止

●一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にし、電源プラグを使用の場合は、コンセントから抜くこと

発熱、発火の原因になることがあります。

専用電源切

●漏電遮断器は月に１回、動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

動作確認

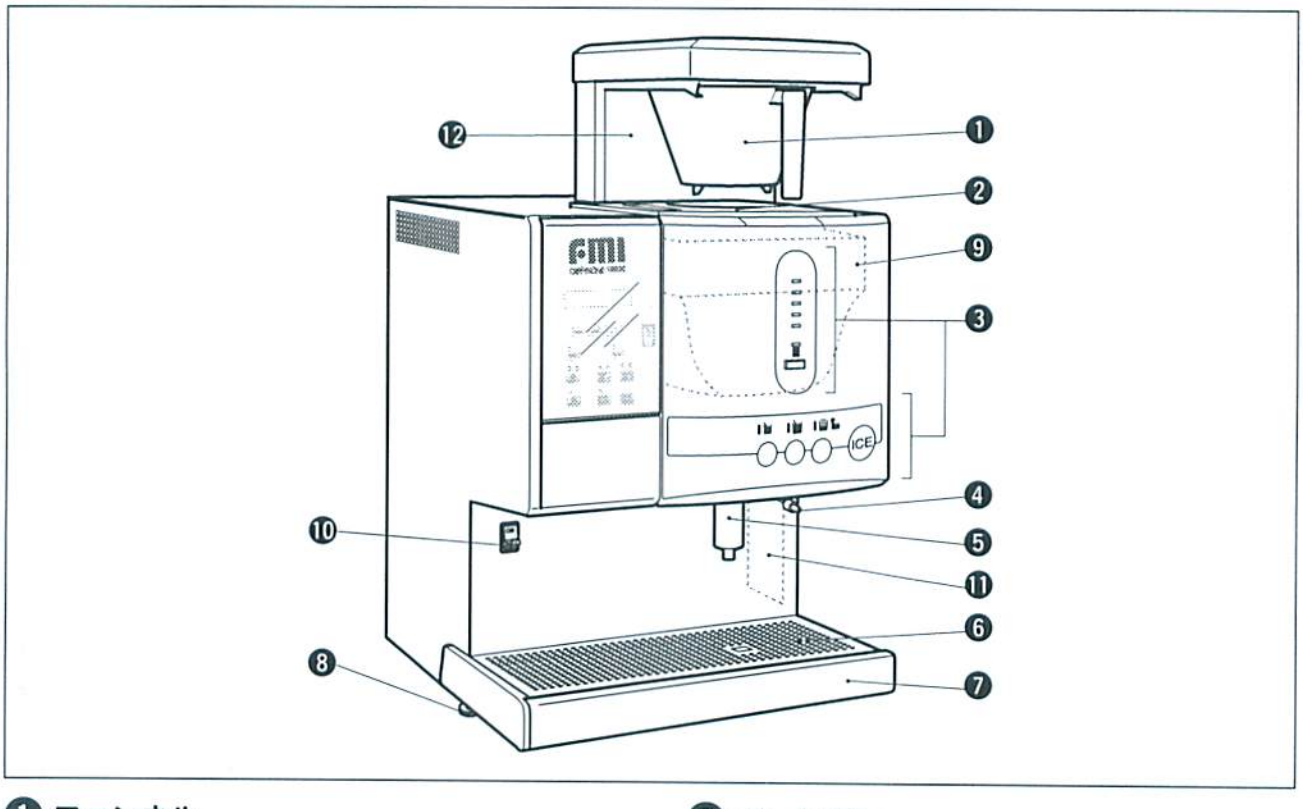
●本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

テープ止め

各部の名称とはたらき

●本機はアイスコーヒーを抽出する機械です。

本　体



❶ ファンネル
コーヒー粉を入れたペーパーフィルターをここにセットします。

❷ コーヒータンク蓋

❸ 抽出スイッチ部
各メニューの抽出をおこないます。詳しくはP5 抽出スイッチ部 を参照してください。

❹ コーヒー手動取り出しボタン
ボタンを押している間、アイスコーヒーが出ます。

❺ コーヒーノズル（延長ノズル）
アイスコーヒーがここから出ます。

❻ ドレンプレート
アイスコーヒーを取り出すとき、グラスなどをここに置きます。

❼ ドレンパン
排水を受けます。

❽ アジャスト脚
本体を水平に保つために調整できます。

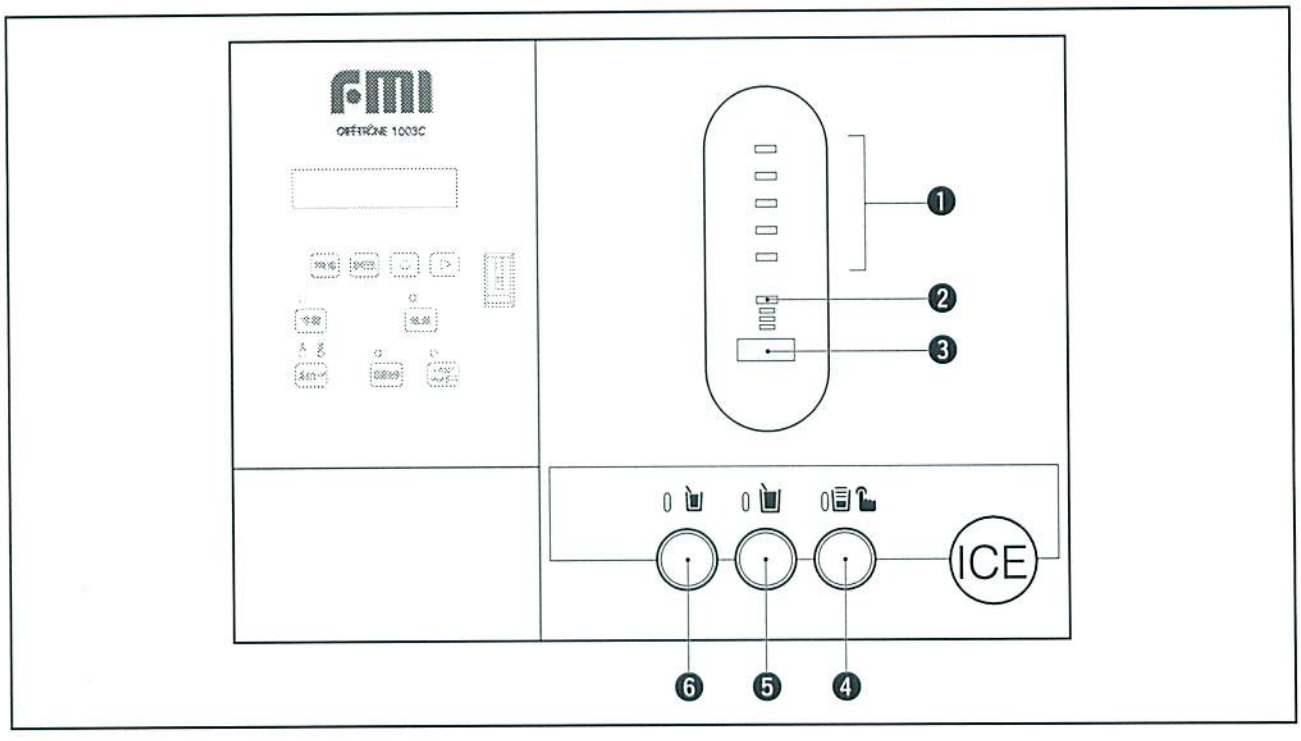
❾ コーヒータンク（本体内）
抽出したアイスコーヒーを保冷しておきます。

❿ メインスイッチ
ONにすると通電した状態になります。
（操作スイッチパネルにある『電源スイッチ』とは役割が異なります。詳しくは、P9・10を参照してください。）

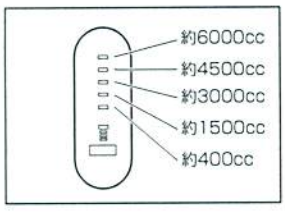
⓫ フィルターホルダー
フィルターが内蔵されています。

⓬ ファンネル取り付け部
ファンネルを取り付けます。
持ち上げて清掃することができます。

抽出スイッチ部



❶ コーヒータンク残量ランプ
タンク内のアイスコーヒー残量が確認できます。残量が約1500cc以下なると一番下の赤いランプのみが点灯します。
各ランプの点灯時のコーヒー残量は下図のとおりです。



❷ 抽出状態表示ランプ
アイスコーヒーの抽出が可能なときは緑に、抽出中は赤く点灯します。温水タンク内の湯温が低く、コーヒー抽出不可能なときは消灯します。後だれ中は点滅してファンネルを抜きとることができません。また、抽出したコーヒーが設定温度に冷却される間も点滅します。
自動洗浄中はオレンジ色に点灯します。

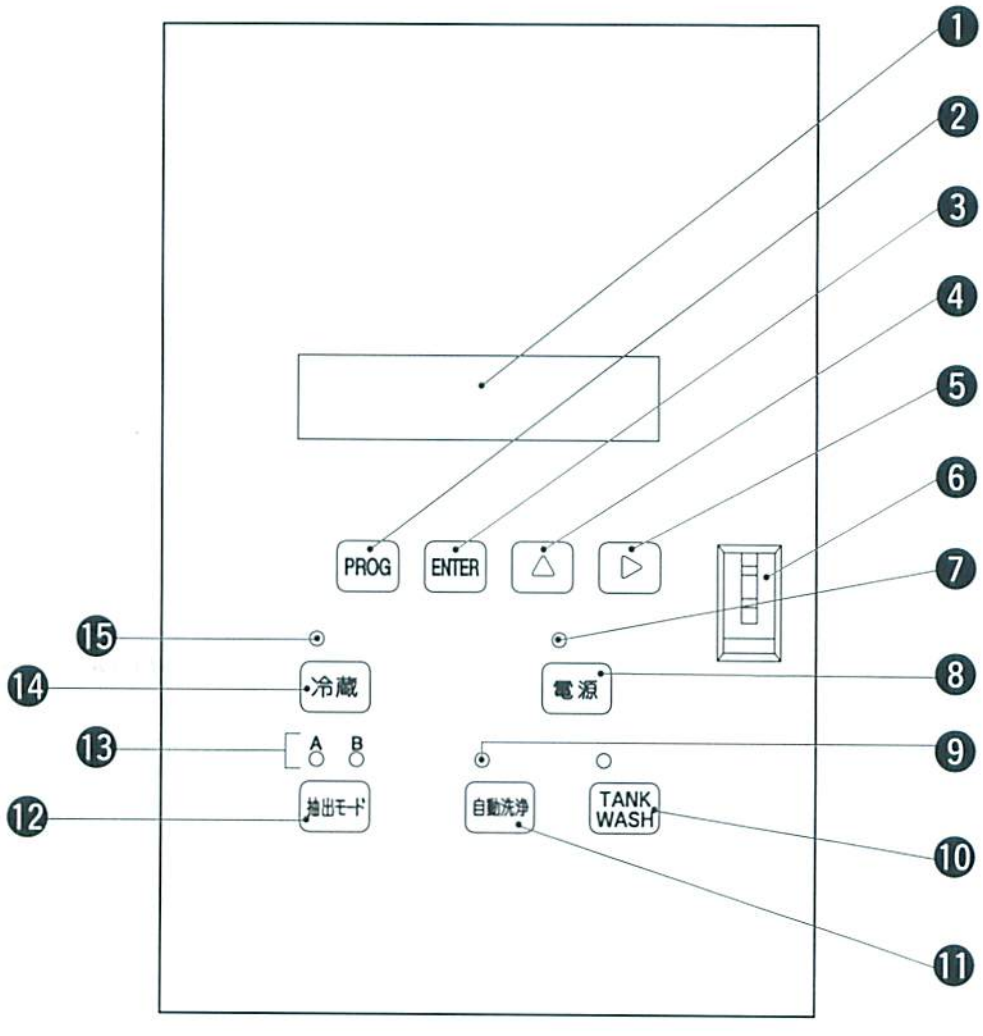
❸ アイスコーヒー抽出スイッチ
アイスコーヒーの抽出をおこないます。
もう一度押すとキャンセルできます。
ファンネル取り付け部が上がっているときは反応しません。

❹ アイスコーヒー取り出しスイッチ（FREE）
コーヒータンク内のコーヒーが連続して出ます。止めるときはもう一度スイッチを押します。コーヒーが出ている間、スイッチ上のランプが点灯します。
1秒間に約20ccのコーヒーが出ます。0～999秒（16分39秒）まで設定できます。

❺ アイスコーヒー取り出しスイッチ（Large）
設定した量のアイスコーヒーがコーヒータンクから出ます。一般的にこのスイッチには大きいグラス1杯取りの設定をします。コーヒーを出している間、スイッチ上のランプが点灯します。
1秒間に約20ccのコーヒーが出ます。工場出荷時は12秒に設定しています。0～999秒（16分39秒）まで設定できます。

❻ アイスコーヒー取り出しスイッチ（Small）
設定した量のアイスコーヒーがコーヒータンクから出ます。一般的にこのスイッチには小さいグラス一杯取りの設定をします。コーヒーが出ている間、スイッチ上のランプが点灯します。
1秒間に約20ccのコーヒーが出ます。工場出荷時は6秒に設定しています。0～999秒（16分39秒）まで設定できます。

操作スイッチパネル部



各部の名称とはたらき

❶ ディスプレイ
現在の機械の状態を表示します。また各種のメッセージやプログラムの設定内容を表示します。

❷ プログラムスイッチ
プログラム設定時に使用します。

❸ エンタースイッチ
プログラム設定の際、設定内容を登録します。

❹ △スイッチ
プログラム設定の際、設定値を大きくします。

❺ ▷スイッチ
プログラム設定の際、カーソルを移動します。

❻ 開閉ボタン
操作スイッチパネルの扉を開閉します。

❼ 電源ランプ
電源スイッチがONのとき、点灯します。

❽ 電源スイッチ
電源をON/OFFします。（本体にあるメインスイッチがONになっていれば、電源スイッチがOFFになっていても機械は通電した状態になります。

❾ 自動洗浄表示ランプ
アイスコーヒータンクの自動洗浄中に点灯します。

❿ 洗浄水スイッチ
3秒間押すと、コーヒータンク洗浄用給水ノズルからコーヒータンクに水が入ります。
もう一度押すと水が止まります。

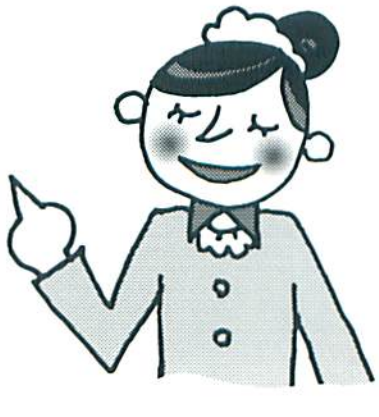
⓫ 自動洗浄スイッチ
3秒間押すとアイスコーヒータンクを自動洗浄します。
ファンネル取り付け部が上がっているときは反応しません。

⓬ 抽出モード選択スイッチ
アイスコーヒーの抽出量を選択します。あらかじめプログラム設定されたA・Bの2つから選ぶことができます。

⓭ 抽出モード表示ランプ
抽出されるアイスコーヒーの量が、A・Bいずれのモードかを表示します。

⓮ 冷蔵スイッチ
このスイッチを3秒間押すとアイスコーヒータンクが冷蔵されます。

⓯ 冷蔵表示ランプ
アイスコーヒータンク冷蔵中に点灯します。



1 抽出のしかた

この章ではアイスコーヒーの抽出のしかたについて説明します。

本機の操作時には必ず守ってください

⚠ 警　告

●濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

濡れ手禁止

⚠ 注　意

●排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと

排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。

排水点検

●断水のときは、電源スイッチを『OFF（切）』にし、水道栓を閉めること

開けておくと通水時“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。

断水時閉弁

●断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。

水入れ替え

●ファンネルの中には、コーヒー粉以外のものは入れないこと

本機は、コーヒー抽出を目的として作られています。それ以外の用途には使用しないでください。

禁止

本体のメインスイッチを入れる前に

●本体のメインスイッチを入れる前に、以下の作業をおこなってください。

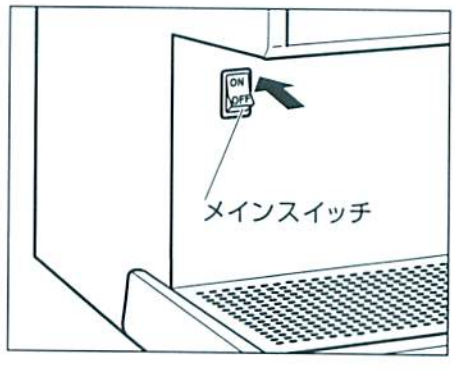
1 専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を入れます。

2 水道の元栓が開いていることを確認します。

本機の立ち上げかた

1 本体の「メインスイッチ」をONにします。

●「メインスイッチ」を上側にたおし、ONにします。



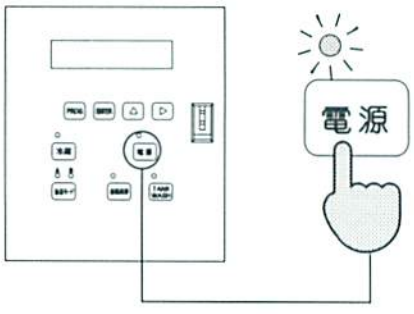
メモ

メインスイッチを2日以上切ったままにすると、日付、曜日、時刻が工場出荷時の設定に戻ります。このときは、P47「日付と時刻の設定」を参照して現在の日付と時刻に設定しなおしてください。

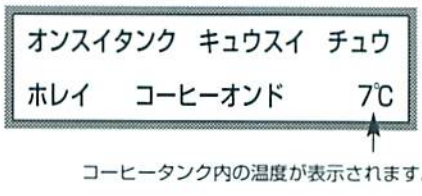
約3秒後、右のような表示が出ます。

2 「電源スイッチ」をONにします。

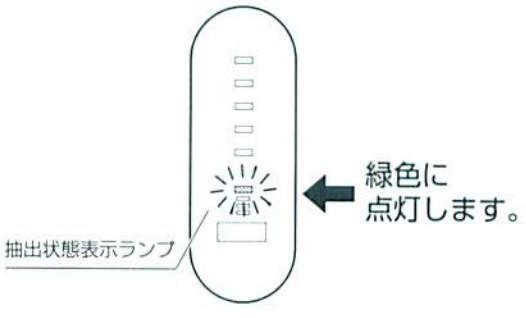
❶操作スイッチパネル内にある「電源スイッチ」をONにします。

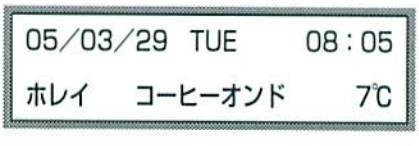


プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。
自動的に温水タンクへの給水がおこなわれます。給水時間は約6分です。その後、温水タンクの昇温が始まります。



❷温水タンク内の昇温が完了すると、抽出スイッチ部の「抽出状態表示ランプ」が緑色に点灯してコーヒーの抽出が可能になります。
昇温には約10分かかります。（水温により多少異なります）

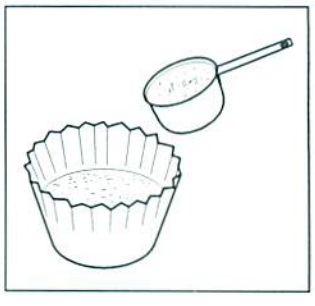




アイスコーヒーの抽出のしかた

1 アイスコーヒー粉をセットします。

❶ペーパーフィルター（1枚）に抽出量に応じた量のアイスコーヒー粉（以下、コーヒー粉と呼びます。）を入れます。付属の粉計量スプーン（大）1杯の量は約40gです。



●コーヒー粉のめやす

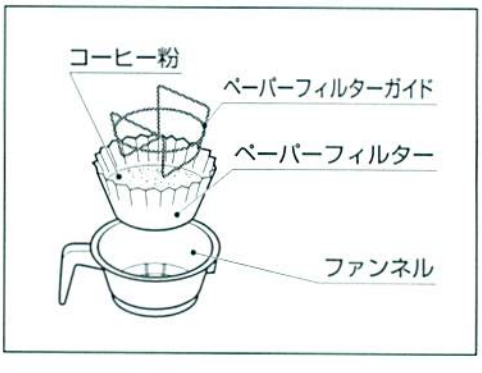
抽出量	コーヒー粉
2L	約150g
3L	約200g

メモ

- ●コーヒー粉の量は豆のメッシュ、種類、好みに応じて増減してください。豆のメッシュは、中挽きが適当です。（普通のドリップ用程度）
- ●1回の抽出で使用できるコーヒー粉の量は約250gまでです。
  250g以上で抽出をおこなうとペーパーフィルター上端からコーヒーが溢れることがあります。
- ●ペーパーフィルターは必ず1枚でご使用ください。誤って2枚重なったまま使用しますと、ファンネル上端よりコーヒーが溢れ、やけどの原因になることがあります。

❷コーヒー粉を入れたペーパーフィルターをファンネルにセットします。

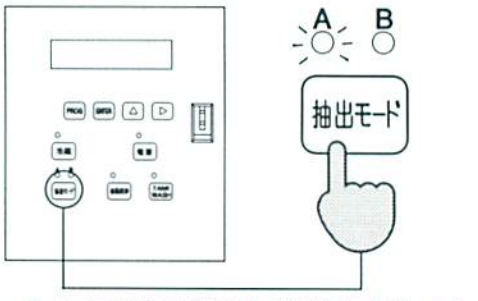
- ●2L以下の抽出ではペーパーフィルターが内側に倒れないように、ペーパーフィルターガイドを装着してください。
- ●ペーパーフィルター内のコーヒー粉が平らになるようにファンネルを軽く左右にゆすってください。



❸ファンネルを本体にセットします。
ファンネルは、ファンネルガイドの上にファンネルのフチが乗るように正しく装着してください。

2 コーヒー粉の量に応じた抽出量を選択します。

●「抽出モード選択スイッチ」を押して、抽出モードAかBを選びます。

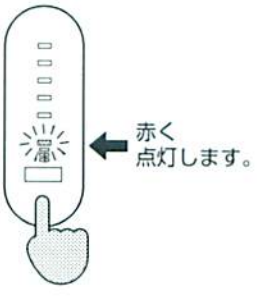


●スイッチを押すたびにAとBが交互に点灯します。

3 「抽出状態表示ランプ」が緑色であることを確認します。

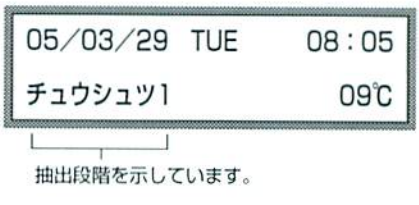
4 コーヒー抽出スイッチを押し、コーヒーを抽出します。

❶ 抽出状態表示ランプが赤く点灯して、抽出が始まります。



メモ

●ファンネル取り付け部が上がっているときは抽出スイッチを押してもブザーが鳴り、抽出はおこなわれません。また、ディスプレイには「チュウシュツタワーガアガッテイマス　オロシテクダサイ」と表示されます。



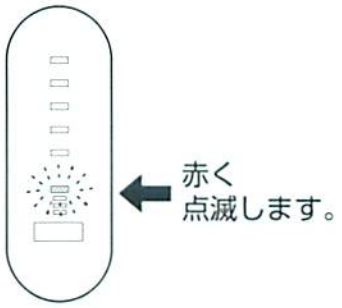
●抽出中、プログラムディスプレイには現在の抽出段階が表示されます。「チュウシュツ1」～「チュウシュツ8」はそれぞれ下記の内容をあらわしています。

表　示	内　容	表　示	内　容
チュウシュツ1	給湯（1回目）	チュウシュツ5	給湯（3回目）
チュウシュツ2	蒸らし	チュウシュツ6	休止（2回目）
チュウシュツ3	給湯（2回目）	チュウシュツ7	給湯（4回目）
チュウシュツ4	休止（1回目）	チュウシュツ8	コーヒー冷却中

●抽出量や給湯方法の設定については第5章「プログラムの設定について」を参照してください。

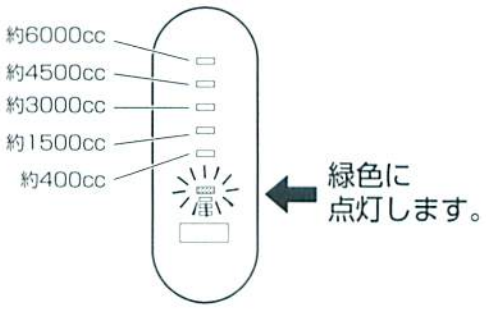
アイスコーヒーの抽出のしかた

❷給湯が終了すると、ランプが赤く点滅します。給湯終了から2分間は、ファンネル内に残ったお湯がコーヒータンクに落ちきるのを待っているためファンネルを取り外すことができません。2分後、ブザーが鳴るとファンネルが取り外せるようになります。また、コーヒータンク内のコーヒーが設定した温度に冷却されるまでランプは赤く点滅を続けます。この間、追加抽出はできません。



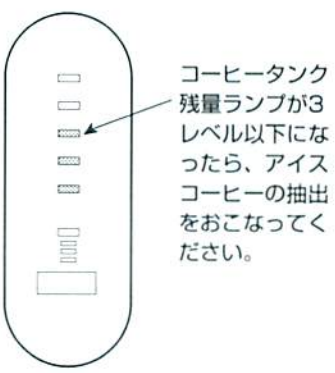
5 抽出が完了します。

●抽出が完了すると、「抽出状態表示ランプ」が緑色に点灯します。
●抽出したコーヒーの量に応じて「ドリップタンク残量ランプ」が点灯します。



メモ

●コーヒータンクの中は、常に3L以上のコーヒーを残すようにして、コーヒーの残量が3Lになったら次のコーヒーの抽出を行ってください。
コーヒーの残量が3L以下の状態で抽出を行った場合、抽出中はタンク内のコーヒーの温度や濃度の変化が大きくなり、取り出すコーヒーの味が変わることがありますので注意してください。

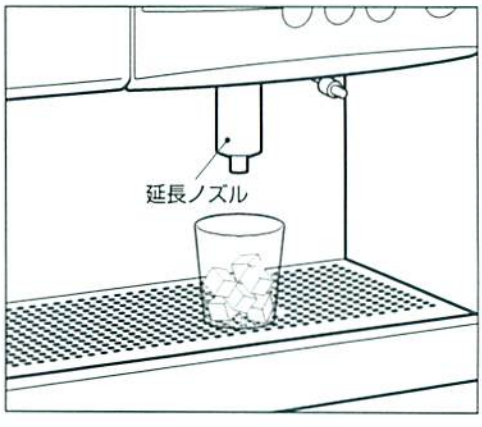


●コーヒーの残量が3L以下の状態で新たにアイスコーヒーの抽出をおこなった場合は、抽出完了後15分以上経過してからアイスコーヒーの提供をおこなってください。
●抽出途中に抽出スイッチを押して抽出キャンセルした場合も、ファンネル内にお湯が残っているためキャンセルをした時点から2分間ファンネルを取り外すことはできません。
●抽出途中でファンネル取り付け部を持ち上げないでください。ファンネル内に残っているお湯がこぼれてやけどの原因になります。抽出は、ファンネル取り付け部を持ち上げた時点で停止します。このときもファンネル内にお湯が残っているため、停止した時点から2分間ファンネルを取り外すことはできません。

アイスコーヒーの取り出しかた

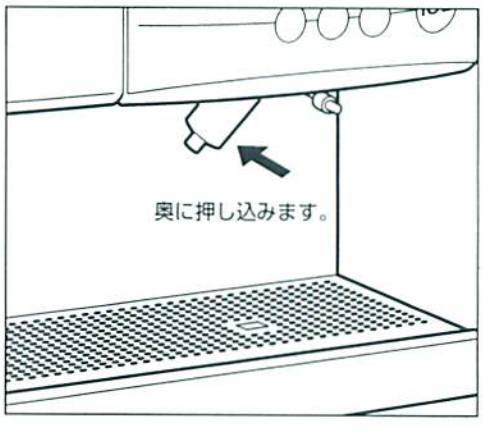
1 コーヒーノズル（延長ノズル）の下にカップを置きます。

●右のようにグラスを置きます。



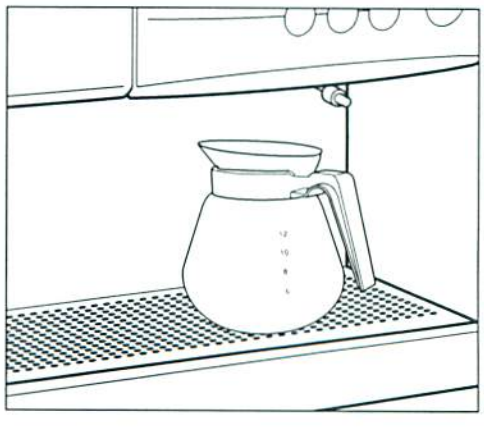
デカンタなど、背の高い容器にコーヒーを取り出す場合

延長ノズルを奥に押し込んでください。
一定の角度になると固定され、コーヒー取り出しバルブから直接コーヒーを取り出すことができます。



メモ

延長ノズルを使って取り出しをおこなうのは高さ10㎝までのグラスなどです。高さ10㎝以上、18㎝までの容器については、延長ノズルを使用せずにコーヒーを出してください。



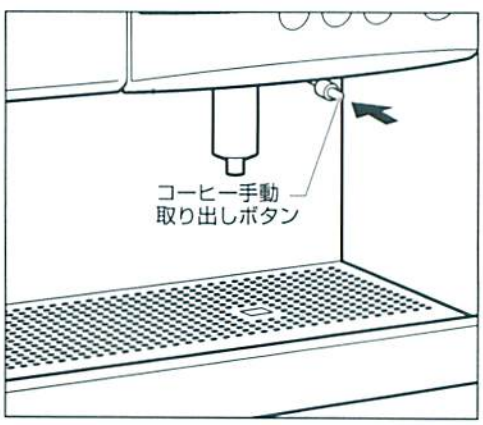
アイスコーヒーの取り出しかた

2 コーヒー取り出しスイッチを押します。

●コーヒー取り出しスイッチには「Small」「Large」「Free」の3種があります。「Small」または「Large」のスイッチを押すと、お買い上げ後の味あわせの際に設定された量のコーヒーが出て、自動的に止まります。

●「Free」スイッチを押すとコーヒーが連続して出ます。
止めるときにはもう一度スイッチを押します。

●「コーヒー手動取り出しボタン」を使ってコーヒーを出すこともできます。手動ボタンを押している間、コーヒーが出ます。量の微調整をするときなどに使用します。



メモ

- 停電時でも「コーヒー手動取り出しボタン」を押してコーヒーを出すことができます。
- コーヒー取り出しスイッチによる、コーヒー取り出し量の設定は変更することができます。(P52参照)
- ファンネル取り付け部が持ち上げられた状態でも、コーヒー取り出しスイッチを押して、コーヒーを取り出すことができます。

2 冷蔵のしかた

この章では抽出したアイスコーヒーの冷蔵（保存）のしかたについて説明します。

アイスコーヒーの冷蔵のしかた

●閉店後に残ったアイスコーヒーは、コーヒータンク内で翌日まで冷蔵しておくことができます。

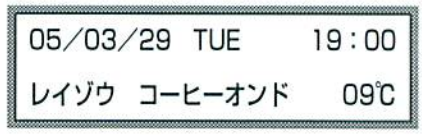
1 一次冷却容器、一次冷却管を洗浄します。

●P22～28 週に1～2回おこなう洗浄と清掃 を参照して一次冷却容器と一次冷却管を取り外し、洗浄します。

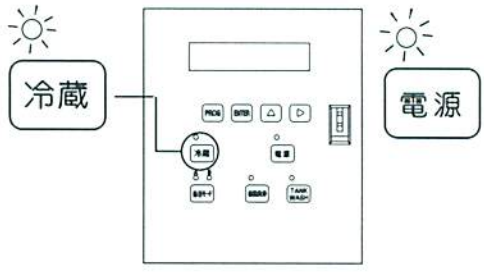
2 洗浄した一次冷却容器、一次冷却管を取り付けます。

3 「電源スイッチ」はONのまま、「冷蔵スイッチ」を3秒間押します。

●設定された温度で冷蔵されます。
プログラムディスプレイには右のような表示があらわれます。



●この状態でのコーヒー抽出、コーヒーの取り出しはできません。
コーヒー抽出、コーヒーの取り出しをおこなう場合は「冷蔵スイッチ」をOFFにしてください。コーヒーの取り出しが可能になります。
また、温水タンクが加熱され抽出可能になるとランプが緑色に点灯します。



メモ

本体の「メインスイッチ」をOFFにすると冷蔵されません。

アイスコーヒーの冷蔵のしかた

メモ

- 「自動立ち上げタイマー」機能の自動終了を設定している場合、自動終了時刻になっても冷蔵機能は働きません。閉店後、コーヒーを冷蔵しておく場合は自動終了時刻になる前に冷蔵スイッチを3秒間押して機械を冷蔵モードにしてください。
- 冷蔵モードの状態で自動立ち上げ時刻になると、コーヒータンクの保冷はそのままで温水タンクのお湯を沸かし、抽出可能な状態でスタンバイします。
- コーヒータンク内のコーヒーは冷蔵できますが、コーヒー取出栓の中のコーヒーには冷却力が及びません。長期間にわたってコーヒーを冷蔵するとこれらの部分で雑菌が繁殖して不衛生になります。3日に一度はコーヒータンク内のコーヒーを全部抜いて、自動洗浄してください。
- ファンネル取り付け部が持ち上げられていても冷蔵モードになりますが、冷却効果が落ちますので必ずファンネル取り付け部を下ろし、コーヒータンク蓋をセットして冷蔵してください。

3 洗浄・清掃のしかた

本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください

⚠ 警　告

●自動洗浄以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを『OFF（切）』にして、本機専用電源も『OFF（切）』にすること

感電したりやけどの原因になることがあります。

専用電源切

●電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁止

●電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検清掃

●本機に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

水掛け禁止

●濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

濡れ手禁止

●コーヒーの抽出直後に、シャワープレートを外さないこと

シャワープレート内に残っている熱湯が落ちてきて、やけどの原因になります。

禁止

本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください

⚠ 注　意

●最低3日に一度は必ず自動洗浄すること

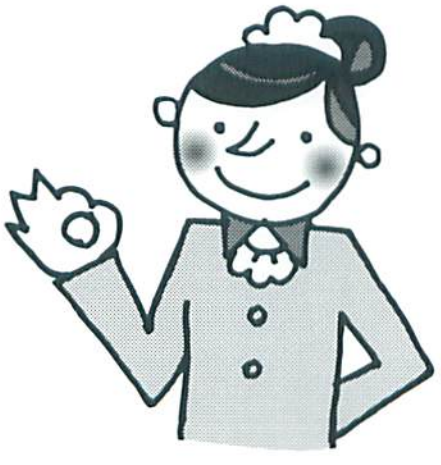
洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

●付属の酸素系漂白剤「テルキッチン」は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと

健康障害の原因になります。

●自動洗浄中（酸素系漂白剤「テルキッチン」投入時）は、電源を切らないこと

コーヒータンク内に洗浄液が残ったままになり、次に抽出するコーヒーに洗浄液が混ざり健康障害の原因になります。



毎日おこなう洗浄と清掃

ファンネルの洗浄

1 ファンネル内のコーヒーカスを捨てます。

●コーヒーの抽出が終了したら、すみやかにコーヒーカスをペーパーフィルターごと捨てます。

2 ファンネルを洗浄します。

❶ファンネルを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

❷その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❸乾いた布で水分を拭き取ってください。

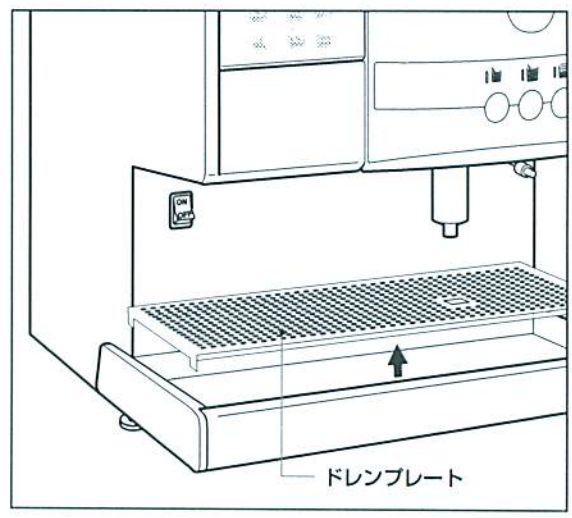
ドレンプレート、ドレンパンの洗浄

1 ドレンプレートを本体から取り外して洗浄します。

❶ ドレンプレートを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

❷ その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❸ 乾いた布で水分を拭き取ってください。

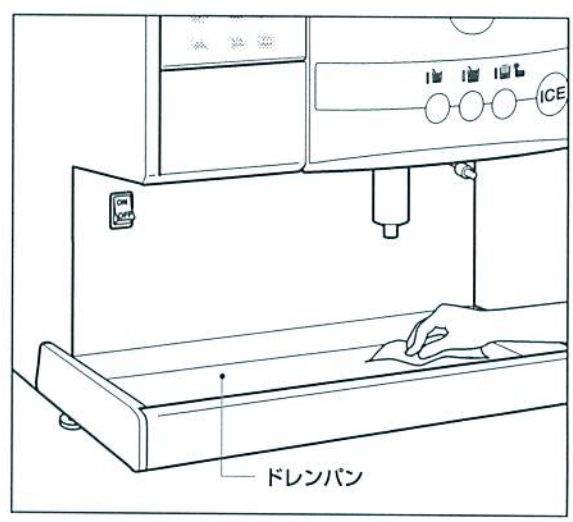


2 ドレンパンを清掃します。

❶ ドレンパンを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯を含ませた布などで拭いてください。

❷ その後、きれいな水でしぼった布で拭いてください。

❸ 乾いた布で水分を拭き取ってください。



週に1～2回おこなう洗浄と清掃

ここでは週に1～2回、また、汚れが目立ったときにおこなう洗浄と清掃について説明しています。

コーヒータンクの自動洗浄

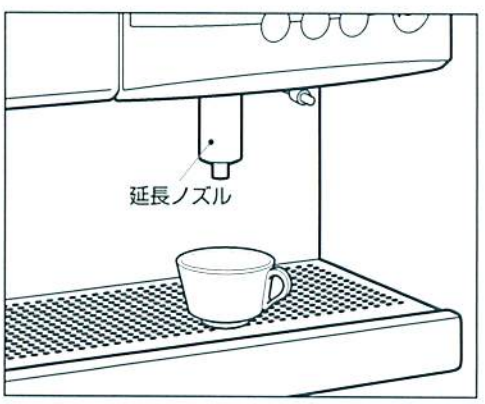
●3日に一度は終業時にコーヒータンクの自動洗浄をおこなってください。

3日間、自動洗浄をしなかった場合、30分間に1回、30秒間ディスプレイが点滅し“ｼﾞﾄﾞｳｾﾝｼﾞｮｳｦｼﾃｸﾀﾞｻｲ”と警告メッセージが表示されます。機械の通常動作には影響しません。この自動洗浄警告表示は、自動洗浄を実施するまで消えません。機械を清潔に保ち、衛生的で良質のコーヒーを提供するためにも、必ず3日に一度、自動洗浄をおこなってください。

1 自動洗浄の準備をします。

●コーヒータンクの中に、コーヒーが残っている場合はコーヒーを全て排出してください。

●洗浄した排水の飛び散りを防ぐためコーヒーノズル（延長）の下に空のカップを置きます。

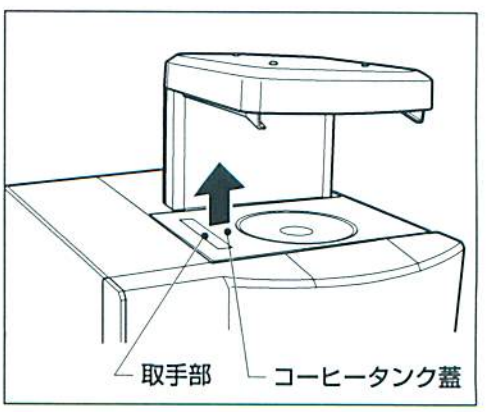


2 一次冷却容器とコーヒータンクの中に、付属の酸素系漂白剤「テルキッチン」※を15gずつ入れます。

※酸素系漂白剤「テルキッチン」は以下、酸素系漂白剤と呼びます。

❶ファンネルを本体から取り外します。

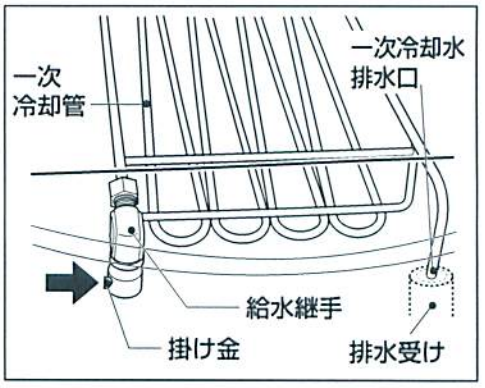
❷コーヒータンク蓋の取手部を持ち上げ、取り外します。



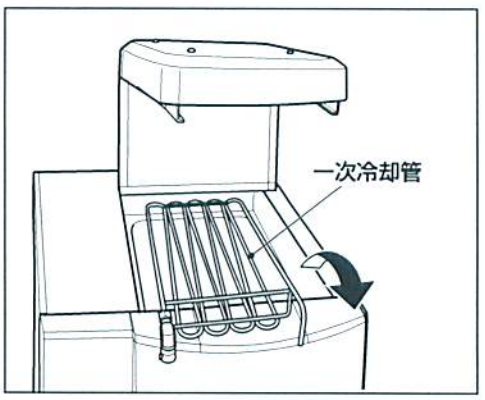
週に1～2回おこなう洗浄と清掃

❸一次冷却管を取り外します。

●一次冷却管の手前左側にある掛け金を押します。

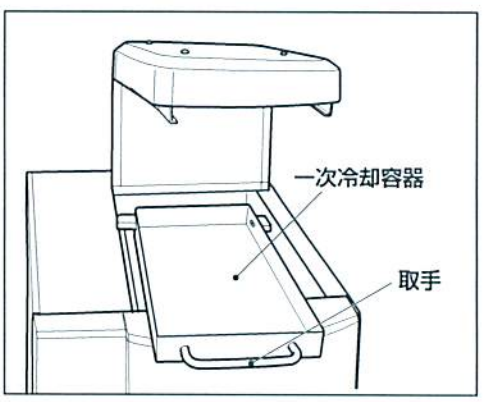


●一次冷却管が少し浮き上がり、外れるようになります。上に持ち上げるようにして取り外します。



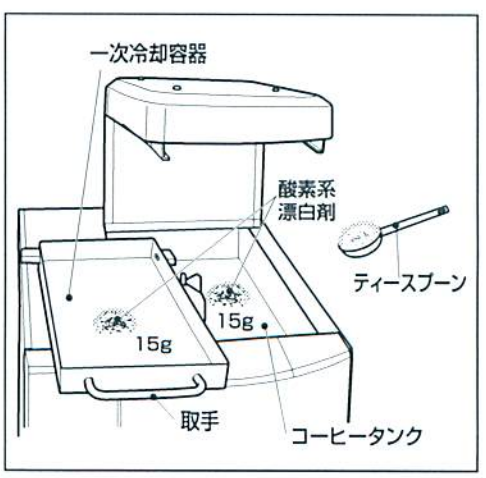
❹取手を持ち上げて、一次冷却容器を取り外します。

コーヒータンクがあらわれます。



❺コーヒータンクの中に、酸素系漂白剤を15g（お手持ちのティースプーン山盛り4杯）入れます。

❻一次冷却容器を取り付け、酸素系漂白剤を15g（お手持ちのティースプーン山盛り4杯）入れます。



❼一次冷却管を取り付けます。

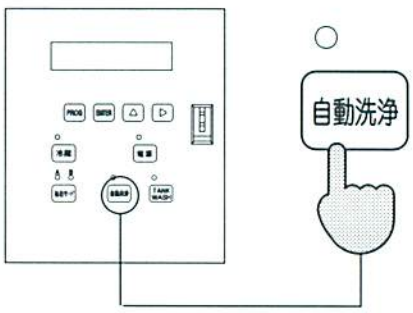
●一次冷却管を取り付けるときは、給水継手を本体の給水継手にパチンと音がするまで押し込みます。
この時、一次冷却管の排水口が本体の排水受けに収まるようにしてください。

❽コーヒータンク蓋、ファンネルを本体にセットします。

3 『自動洗浄スイッチ』を押します。

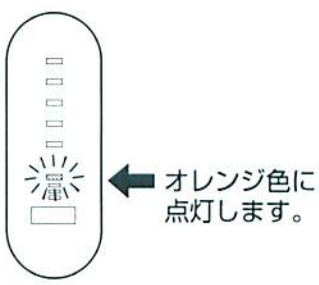
❶冷蔵中の場合は「冷蔵スイッチ」をOFFにします。「電源スイッチ」はONの状態にしてください。

❷操作スイッチパネルの『自動洗浄スイッチ』を約3秒間押します。
抽出状態表示ランプがオレンジ色になります。

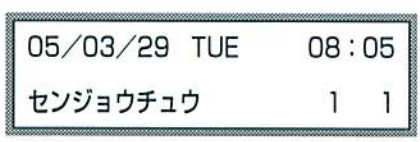


メモ

- ファンネル取り付け部が持ち上げられた状態では、「自動洗浄スイッチ」は反応しません。
- 酸素系漂白剤を入れ忘れた場合や、誤って『自動洗浄スイッチ』を押したなどの場合、もう一度『自動洗浄スイッチ』もしくは『電源スイッチ』を押すと洗浄動作をストップすることができます。なお、酸素系漂白剤投入後はすみやかに自動洗浄をおこなってください。



❸スイッチ上のランプが点灯して、自動洗浄に入ります。洗浄は給水、排水を3回繰り返し、約1.5時間かかります。



❹自動洗浄が終了すると、自動的に『電源スイッチ』がOFFになります。（本体の「メインスイッチ」はONのままです）

- 自動洗浄中は、あやまって電源をOFFにしないよう『自動洗浄中　告知札』を本体に立てかけるか、または吊すかしてください。
- また、自動洗浄中はファンネル取り付け部を持ち上げないでください。ファンネル内に残っているお湯がこぼれてやけどの原因になります。また、ファンネル取り付け部を持ち上げた時点で自動洗浄は停止し、自動的に「電源スイッチ」がOFFになります。
- 自動洗浄中に電源がOFFになった場合は、再度電源スイッチをONにして「コーヒー取り出しスイッチ」を押し、コーヒータンク内の洗浄液を全て排出してください。その後、酸素系漂白剤をもう一度入れ、自動洗浄を最初からやり直してください。

週に1～2回おこなう洗浄と清掃

●洗浄中、プログラムディスプレイには現在の抽出段階が表示されます。「センジョウチュウ1」～「センジョウチュウ6」はそれぞれ以下の内容をあらわしています。

表示			内容	所要時間
	工程	回数		
センジョウチュウ	1	1	アイスコーヒータンクへ　給水＋給湯	約33分
センジョウチュウ	2	1	アイスコーヒータンクへ　給湯	
センジョウチュウ	3	1	アイスコーヒータンクへ　給水＋給湯	
センジョウチュウ	4	1	アイスコーヒータンクへ　給湯	
センジョウチュウ	5	1	アイスコーヒータンクへ　給水＋給湯	
センジョウチュウ	6	1	浸けおき（17分）→排水（6分）	
センジョウチュウ	1	2	アイスコーヒータンクへ　給水＋給湯	約33分
センジョウチュウ	2	2	アイスコーヒータンクへ　給湯	
センジョウチュウ	3	2	アイスコーヒータンクへ　給水＋給湯	
センジョウチュウ	4	2	アイスコーヒータンクへ　給湯	
センジョウチュウ	5	2	アイスコーヒータンクへ　給水＋給湯	
センジョウチュウ	6	2	浸けおき（17分）→排水（6分）	
センジョウチュウ	1	3	アイスコーヒータンクへ　給水＋給湯	約33分
センジョウチュウ	2	3	アイスコーヒータンクへ　給湯	
センジョウチュウ	3	3	アイスコーヒータンクへ　給水＋給湯	
センジョウチュウ	4	3	アイスコーヒータンクへ　給湯	
センジョウチュウ	5	3	アイスコーヒータンクへ　給水＋給湯	
センジョウチュウ	6	3	浸けおき（17分）→排水（6分）	

4 酸素系漂白剤や洗浄水が残っていないかを確認します。

自動洗浄中、停電等の理由で電源が停止すると自動洗浄が正常に終了せず、本体内に洗浄液が残ったままになります。
洗浄後、最初のコーヒー抽出をおこなう際は、一次冷却容器、コーヒータンクなどを確認してください。
洗浄液や洗剤成分が残っていた場合は『洗浄水スイッチ』TANK WASH を3秒間押して、水で洗い流してください。洗浄水を止めるにはもう一度『洗浄水スイッチ』を押してください。

メモ

●コーヒータンクの自動洗浄中はアイスコーヒーの抽出はできません。

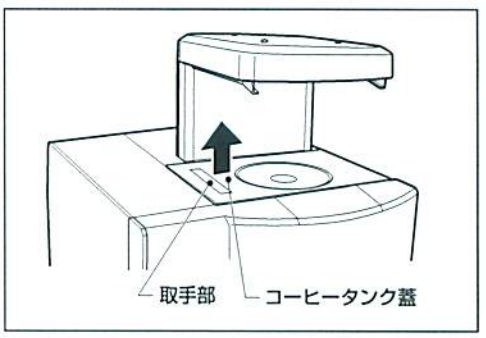
コーヒータンク内部の洗浄

●コーヒータンクの自動洗浄のほか、週に1～2度はコーヒータンクの内部および部品の洗浄をおこなってください。

1 ファンネルを取り外します。

2 コーヒータンクの蓋を取り外します。

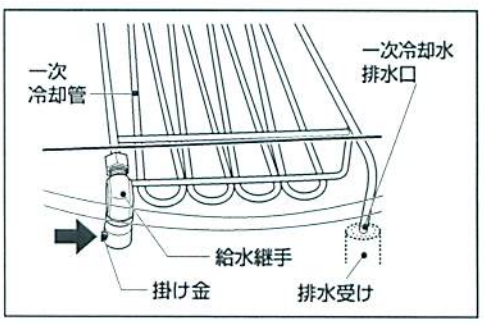
●コーヒータンク蓋の取手部を持ち上げ、取り外します。



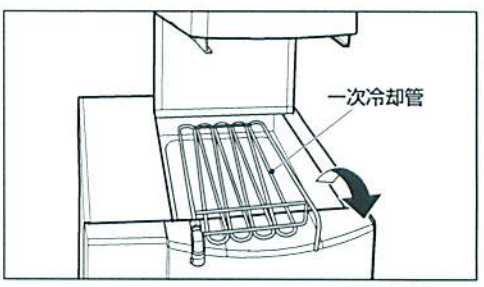
3 一次冷却管、一次冷却容器を取り外します。

❶一次冷却管を取り外します。

●一次冷却管の手前左側にある掛け金を押します。

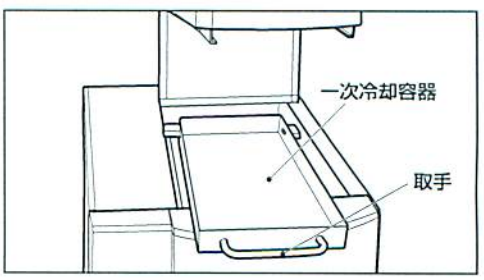


●一次冷却管が少し浮き上がり、外れるようになります。上に持ち上げるようにして取り外します。



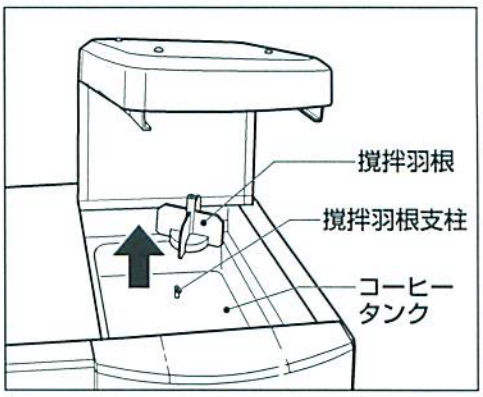
❷取手を持ち上げて、一次冷却容器を取り外します。

コーヒータンクがあらわれます。



4 撹拌羽根を取り外します。

●コーヒータンクの底に付いている撹拌羽根を抜き取ります。

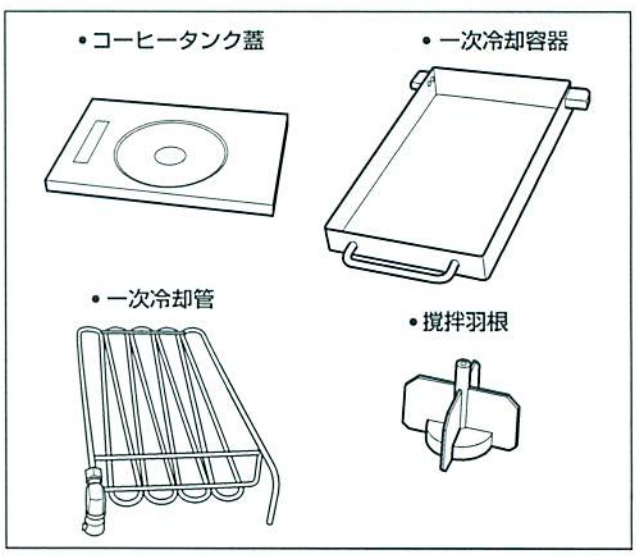


5 取り外した各部品を洗浄します。

❶食器用中性洗剤をつけた柔らかいスポンジなどで洗った後、よくすすぎ洗いをします。

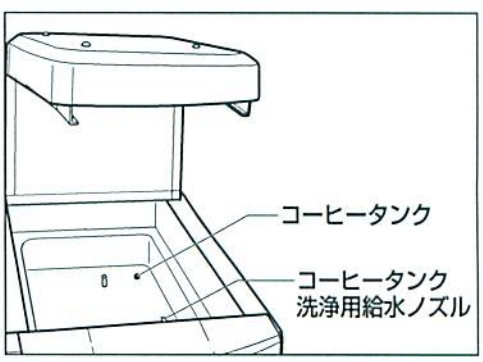
❷汚れのひどい時は酸素系漂白剤の溶液（ぬるま湯2リットルに約15g〈お手持ちのティースプーン山盛り4杯〉の割合）に漬け置きした後、水でよくすすぎ洗いをして、洗剤成分を完全に洗い流してください。

❸乾いた布で水分を拭き取ってください。



6 『洗浄水スイッチ』を押してコーヒータンク内に水を入れ、柔らかいスポンジなどを使用して洗ってください。

●「洗浄水スイッチ」を3秒間押すと、コーヒータンク洗浄用給水ノズルからコーヒータンクに水が入ります。もう一度押すと止まります。コーヒータンク洗浄時にご利用ください。



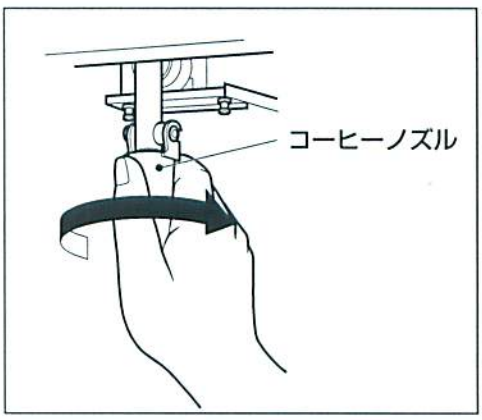
7 取り外した部品を取り付けます。

●取り外しと逆の手順で部品を取り付けてください。

コーヒーノズル（延長ノズル）の洗浄

1 コーヒーノズルを取り外します。

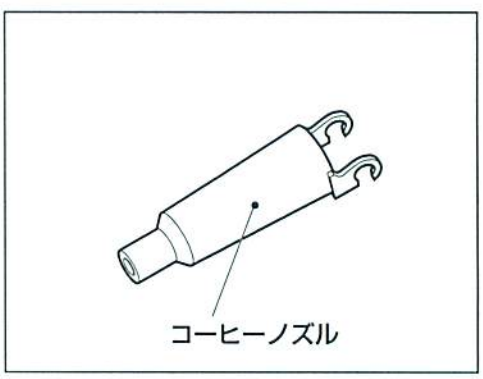
●コーヒーノズルをつかみ、回すようにひねって取り外します。



2 コーヒーノズルを洗浄します。

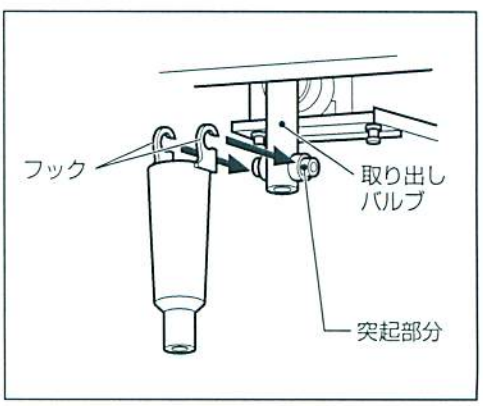
❶ ぬるま湯で洗ってください。

❷ 乾いた布で水分を拭き取ってください。



3 コーヒーノズルを取り付けます。

●コーヒー取り出しバルブの下部にある突起部分にコーヒーノズルのフックを当てて“パチン”と音がするまで押し込みます。



コーヒー取り出しバルブの洗浄

●コーヒー取り出し量が少なくなったり、コーヒータンクから少量のコーヒーがもれる場合、コーヒー取り出しバルブ内にコーヒーカスが流入していることがあります。このときは以下の手順でコーヒー取り出しバルブを分解洗浄してください。

1 コーヒータンク内のコーヒーを全て取り出してください。

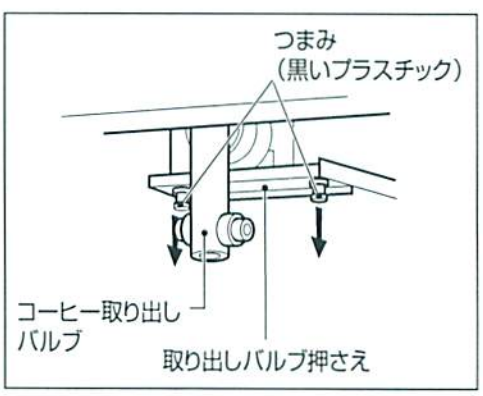
2 コーヒーノズルを取り外します。

● コーヒーノズルの洗浄 の項目を参照してコーヒーノズルを取り外します。

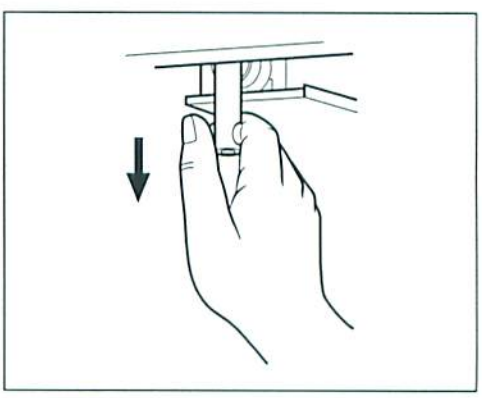
3 コーヒー取り出しバルブを外します。

❶コーヒー取り出しバルブを留めている「取り出しバルブ押さえ」を外します。「取り出しバルブ押さえ」の下についている黒いプラスチックのつまみ（左右2か所）を下に引っ張ると外れます。

注）コーヒータンク内にコーヒーが残っていないことを確認してください。

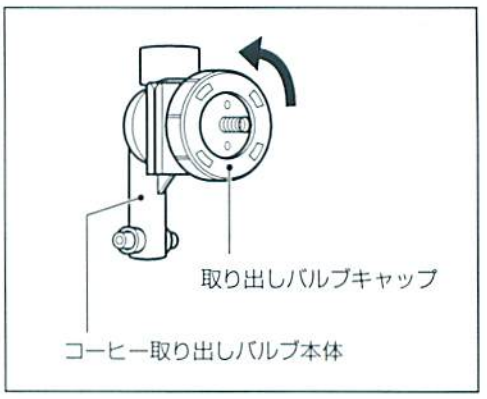


❷コーヒー取り出しバルブのノズル部をつまみ、下に引き抜きます。



4 コーヒー取り出しバルブを分解して洗浄します。

❶ コーヒー取り出しバルブ背面にある「取り出しバルブキャップ」を反時計方向に45°回して外します。

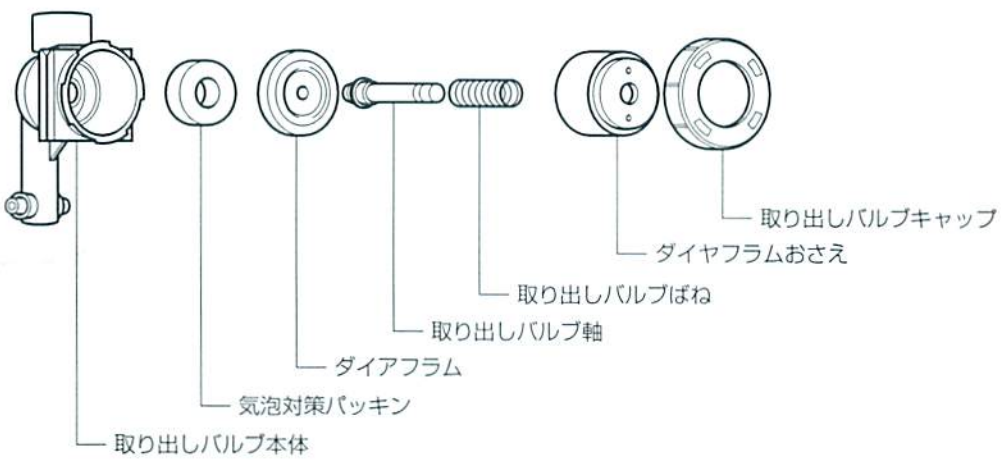


メモ

コーヒー取り出しバルブの中にはバネが入っています。「取り出しバルブキャップ」を外すとき、中の部品が飛び出さないよう、慎重におこなってください。

❷ コーヒー取り出しバルブは以下の部品から成っています。各部品を順に取り外してください。このとき、部品をなくさないよう、注意してください。

●コーヒー取り出しバルブ分解図と各部品の名称

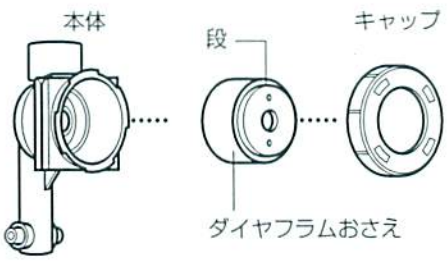


❸ 各部品を、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

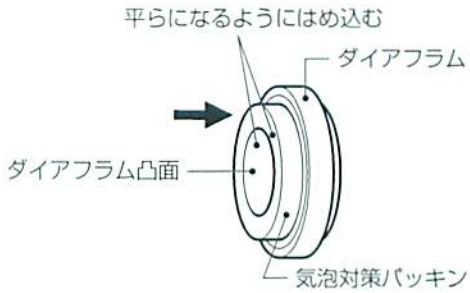
❹ 乾いた布で水分を拭き取ってください。

5 コーヒー取り出しバルブを組み立てます。

●分解と逆の順でコーヒー取り出しバルブを組み立ててください。このとき、以下のことに注意してください。



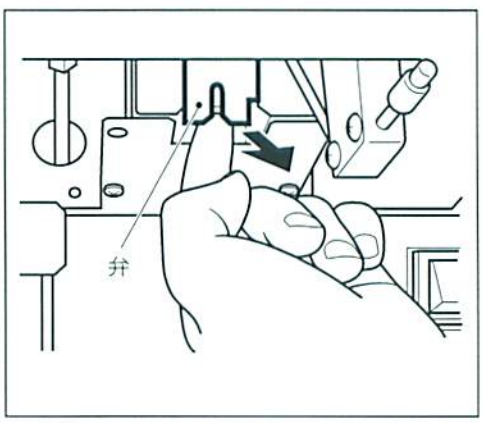
• ダイヤフラムおさえの取り付け向きに注意してください。段がある方が外向き（キャップ側）です。



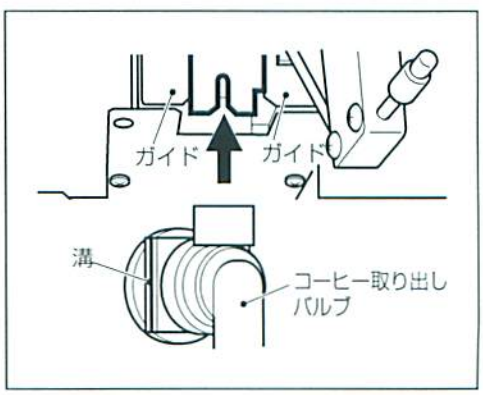
• 「ダイヤフラム」の凸面に、「気泡対策パッキン」をはめ込む際、凸面とパッキンが平らになるまでパッキンを押し込んでください。

6 コーヒー取り出しバルブを取り付けます。

❶本体のコーヒー取り出しバルブ取り付け部分の弁を右図のように手前に引いておきます。

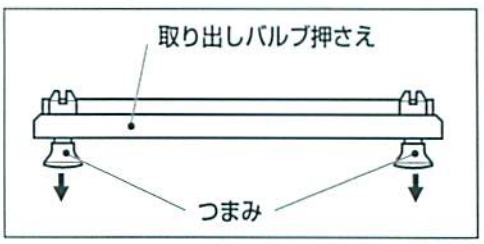


❷コーヒー取り出しバルブの溝の中に、取り付け部分にあるガイドがはまるようにして、コーヒー取り出しバルブを取り付けます。

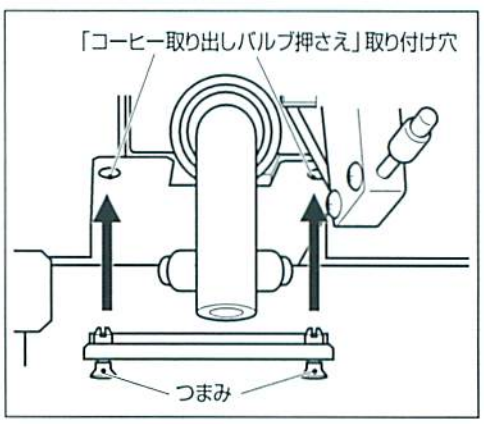


7 「取り出しバルブ押さえ」を取り付けます。

❶「取り出しバルブ押さえ」に付いている黒いつまみを下に引いておきます。



❷右図のようにして「取り出しバルブ押さえ」を取り付けます。
黒いつまみを“パチン”と音がするまで上方に押し込みます。



ファンネル取り付け部底面の清掃

1 ファンネル取り付け部底面を清掃します。

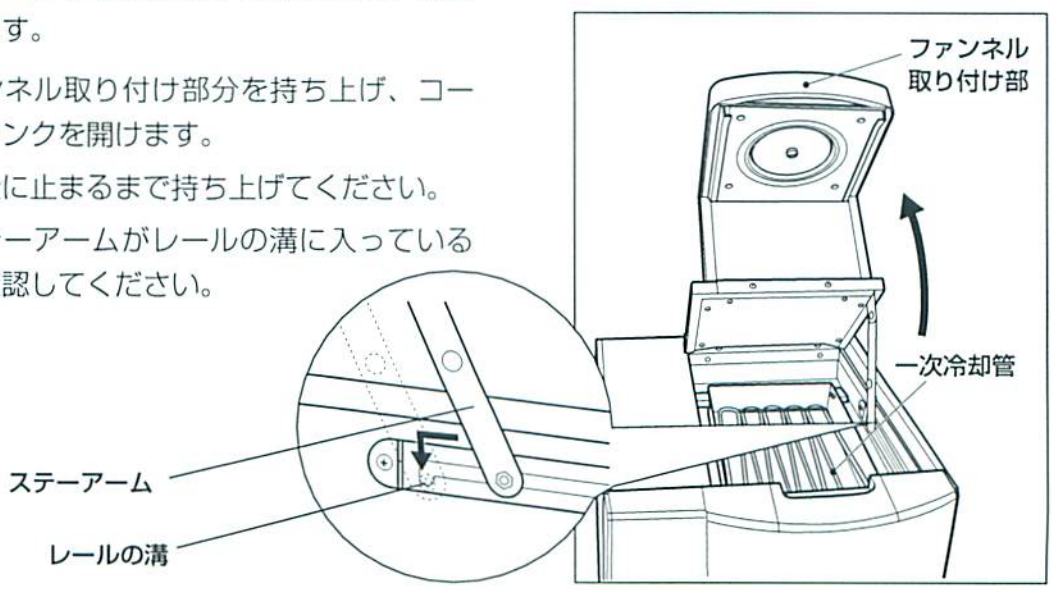
❶ファンネルを本体から取り外します。

❷コーヒータンク蓋の取手を持ち上げ、取り外します。

❸ファンネル取り付け部分を持ち上げ、コーヒータンクを開けます。

●完全に止まるまで持ち上げてください。

●ステーアームがレールの溝に入っているか確認してください。



❹ 中性洗剤を使用し、柔らかい布で丁寧に拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。

> ⚠ 本機に直接水を掛けて洗わないでください。
> 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

❺ ステーアームのロックを外してから、ファンネル取り付け部を下げます。

❻ コーヒータンク蓋、ファンネルを本体にセットします。

本体外装の清掃

1 本体外装の清掃をします。

本体の外装は、中性洗剤を入れた水でしぼった柔らかい布で丁寧に拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。

> ⚠ 本機に直接水を掛けて洗わないでください。
> 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

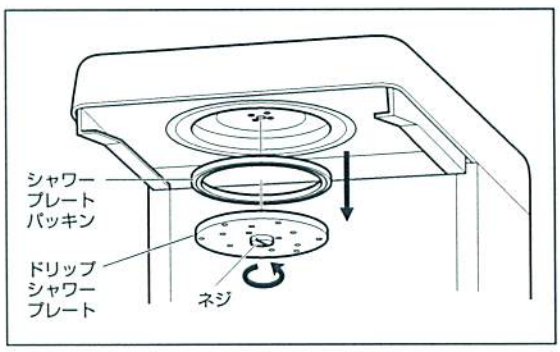
1ヶ月に1回おこなう清掃

ドリップシャワープレートの洗浄

1 ドリップシャワープレートを取り外します。

❶ ドリップシャワープレート中央にあるネジを硬貨などで反時計方向に回して外します。

❷ ドリップシャワープレート、シャワープレートパッキンを外します。



⚠ ●シャワープレートの中には少量ですが、お湯が残っています。抽出直後には取り外さないでください。やけどの原因になります。

2 取り外した部品を洗浄します。

❶ ドリップシャワープレート、シャワープレートパッキンおよびネジを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

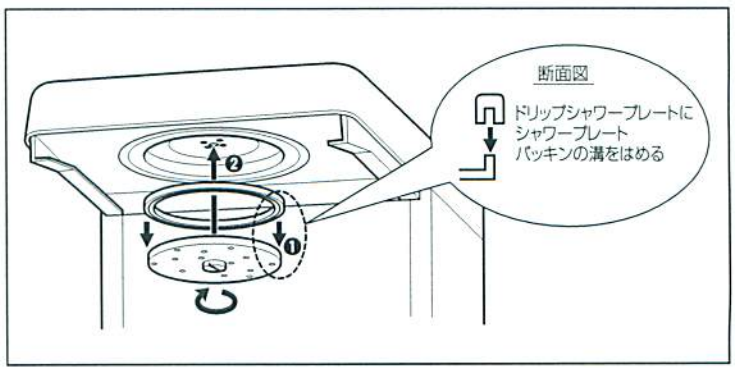
❷ その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❸ 乾いた布で水分を拭き取ってください。

3 ドリップシャワープレートを取り付けます。

❶ 右図のようにして、ドリップシャワープレートにシャワープレートパッキンをはめ込みます。

❷ ドリップシャワープレート中央にあるネジを時計方向に回して、本体に取り付けます。



3ヶ月に1～2回おこなう清掃

●3か月に1～2回はフィルターの清掃をおこなってください。
●圧力スイッチが作動した場合も、すみやかにフィルターの清掃をおこなってください。

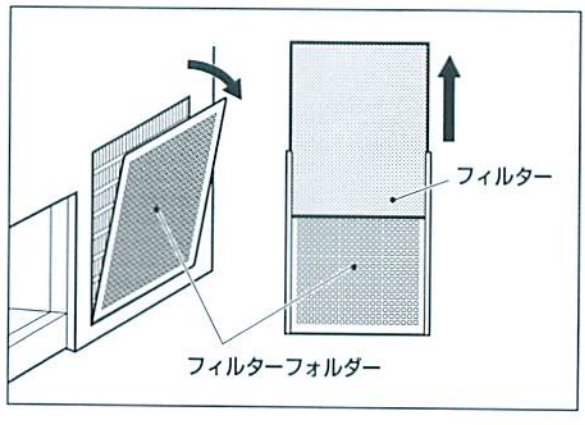
フィルターの清掃

❶フィルターフォルダーは、本体にマグネットでついていますので、引っ張って外します。
フィルターは右の側面に付いています。

❷フィルターをフィルターフォルダーから抜いてください。

❸掃除機でフィルターに付いているホコリを吸い取ってください。

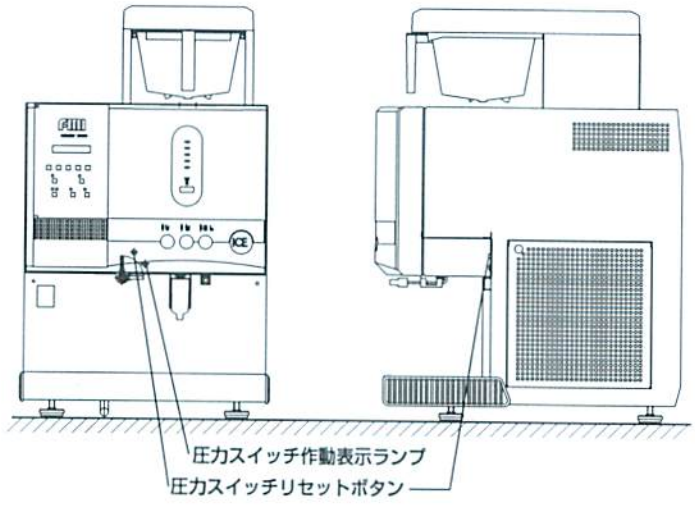
❹フィルターをもとどおりに取り付けてください。



圧力スイッチについて

●本機には冷凍機の保護のため、圧力スイッチが設けてあります。
ファンモーターのフィルターにゴミやホコリが付着すると、通風障害がおこり冷凍機の故障の原因になります。この場合、自動的に圧力スイッチが働き、冷凍機が停止して圧力スイッチ作動表示ランプ（赤色）が点灯します。

●圧力スイッチが作動したらすみやかにフィルターの清掃をおこなってください。清掃後、圧力スイッチリセットボタンを押して、圧力スイッチを復帰させてください。



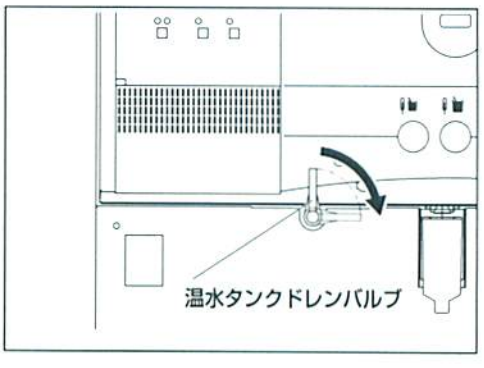
長期間ご使用にならないとき

機械を長期間ご使用にならないときは、

❶ 機械の各部をきれいに清掃したうえ、本機専用電源を切り、水道の元栓を止めてください。

❷ 温水タンク内の水を抜き取ってください。

1) コーヒーノズルの左横にある温水タンクドレンバルブのレバーを右横に倒してください。
2) 機械内部の温水タンクの水が、ドレンパンに流れ出ます。
3) 完全に水が抜け終わりましたら、レバーを元の位置に戻してください。
4) 通常は、温水タンクドレンバルブは操作しないでください。



注意！

温水タンク内の水抜きは、温水タンク内の湯が冷めてから（60℃以下）おこなってください。
使用直後などのように温水タンク内の湯が熱いうちに排水しますと、材質によっては排水設備の配管などを損傷する恐れがありますのでご注意ください。

❸ 再び機械をご使用になるときは、「据付け後の動作確認」の項目に従って機械を立ち上げてください。